

地域自然史と保全

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

40周年記念シンポジウム

「関西の自然の長期的な変化：
長期モニタリングの結果から見える過去と現在」

Volume 41
Number 2
December 2019



関西自然保護機構

Kansai Organization for Nature Conservation

表 紙 の 言 葉

ヒロオビミドリシジミ

文 石井 実

写真 三好利也（大阪みどりのトラスト協会蔵）

大阪府北部の里山林「三草山ゼフィルの森」にはゼフィルスと呼ばれる樹上性のシジミチョウ類が10種生息している。そのうち本種は中国・近畿地方のみに局地的に分布し、三草山は東限の産地にあたる。成虫は初夏に現れ、オスは食樹のナラガシワの葉先に静止してメスを待ち、他のオスが近づくとスクランブルをかける。

（2009年6月12日撮影）

関西自然保護機構（KONC : Kansai Organization for Nature Conservation）

KONC は自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978年に創立されました。

KONC はその活動の成果と、会員個人々の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ（助言勧告機関）として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。